

今年度は全校同日開催 町内3小学校で運動会

栗山、角田、継立の町内3小学校の運動会が6月2日、各校グラウンドで開催されました。開会式ではそれぞれの児童会長が元気にあいさつ。選手宣誓が行われた後、徒競走や伝統種目など児童たちは優勝を目指して競い合い、応援に駆け付けたたくさんの方の保護者などから大きな声援を受けていました。



③一生懸命に競い合うことを力強く誓った角田小学校「選手宣誓」



①栗山小学校「デカパンリレー」 ②継立小学校「100m走」

色とりどりの花でいっぱい 町民グループが駅前花壇づくり

町を訪れた人たちが周辺住民の心の癒しにつながるようにと、6月2日に駅前の花壇づくりが行われました。町の「まちの魅力アップ応援事業」を活用し、主催者である「チーム夢」（吉田礼子代表）のほか、北海道介護福祉学校生やNPO法人栗山町手をつなぐ育成会員など約40人が参加。工藤花園で育てられた2000株の花を丁寧に植栽し、3カ所ある花壇は色とりどりの花でいっぱいになりました。吉田代表は「立派な花壇ができました。ぜひ多くの皆さんに見てもらえれば」と話していました。



町の玄関口である栗山駅前花壇を手作業で彩る町民グループ



参加者全員で斉唱

「医療環境整備の提言書」を提出 町民委員会

町の医療関係者および町内各団体の推薦者などで構成される「町の医療環境整備を検討する町民委員会」は5月29日、栗山町の医療環境整備への提言書をまとめ、佐々木学町長に手渡しました。同会はこれまで町の医療環境整備の充実や、町民が安心して医

療を受けることができる体制の確保などを目的に会議を計9回開催。その結果から見えてきたこれからの医療のあり方などを提言書にまとめました。梶良行会長は「町民が安心して暮らせる医療環境整備に役立てれば幸いです」と述べました。



佐々木学町長に提言書を手渡す梶良行会長

2年ぶりの開催「盛会に」 創立34年を迎える東京栗山会

首都圏在住の栗山町出身者でつくる「東京栗山会」の17回目の総会が5月26日、東京都千代田区の都市センターホテルで開催され、約100人の出席者が親睦を深めました。今年で創立34年を迎える同会の2年ぶりの総会。出席者はテーブルに用意された小

林酒造の地酒を飲みながら、ふるさと栗山の近況や思い出を語り合っていました。会場には、懐かしい古写真なども展示。終わりに町特産品推進協議会などから提供されたお米やお酒などの特産品が当たるお楽しみ大抽選会で大いに盛り上がりしました。

ふるさとを一枚に くりやま景観フォトコンテスト

山のふるさとと景観の新たな良さを見つけようと開催された「くりやま景観フォトコンテスト」の表彰式が6月10日、カルチャープラザ「Eki」で開催されました。4回目となる今年は、町内外の36人、101作品の応募があり、旧杵臼小学校体育館周辺の

農村風景を撮影した笹木敷さんの「咲き誇る」がグランプリを獲得。表彰式では出席した入賞者に佐々木学町長から表彰状が手渡されました。



農村風景を撮影した笹木敷さんの「咲き誇る」がグランプリを獲得。表彰式では出席した入賞者に佐々木学町長から表彰状が手渡されました。

20回出場への感謝状を受賞 くりやまOH!!夢乱咲

幌市大通公園など19会場で行われた「第27回YOSAKOIソーラン祭り」で、「感謝状」を受賞した「くりやまOH!!夢乱咲」が6月11日、佐々木学町長へ報告に訪れました。同チームは平成11年に結成以来毎年出場。敢闘賞2回、第23回には北海道知事特別賞を受賞しました。20回の出場を果たした今回

は、長年にわたり祭りの発展と成長に貢献したことが認められての受賞。堀文彦代表は「時には苦しいこともありましたが、多くの方と関わることで、チームとしての絆が深まり道内での認知度は年々向上しました。今後は30周年を目指して道外の方にも知ってもらえるよう、さらに町のPRをしていきたいです」と報告しました。



①感謝状受賞を佐々木町長に報告 ②16年ぶりに一新した衣装で演舞を披露